

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	保健福祉部健康づくり課	直通電話		事業コード	302030201	課内	6	作成日	平成15年8月8日
	担当者		藤原 信幸	担当課長		宮崎 雅年		担当部長	棚橋 文男

1 事業のアウトライン

1) 事業名	救急医療負担金事業	開始年度	H9	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度			
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 3020302 大項目 / 小項目 / 細項目 保健医療の充実/保健医療体制の充実/救急医療体制の充実				
3) 個別計画での位置付け	石狩市総合福祉計画(地域福祉計画)				

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	安心して暮らせる医療体制の整備
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	休日・祝日及び夜間における急病救急診療体制の整備・充実を図り、住民の健康保持に努め、市民の健康福祉に寄与する。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	救急当番病院を市内の医療機関による輪番制で実施する。実施にあたっては、内科系(急病診療)・外科系(時間外診療)の実施に関する協定書を締結して、石狩医師会に対して負担金を支出。 診療時間 内科系 土曜:午後1時～午後5時、日・祝日:午前9時～午後5時、夜間:午後7時～翌朝7時 外科系 土曜:午後1時～午後5時、日・祝日:午前9時～午後5時
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	なし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	北海道保健医療福祉計画に初期から3次に至る体系的な救急医療体制の整備が示されており、市町村においては初期救急医療体制の確保が求められている。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	なし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)	
1) 直接事業費(千円)	67,400	79,198	79,409	79,409	協定に関する負担金	79,409	
2) その他の間接経費(千円)							
3) 従事正職員の人件費(千円)	658	664	659				
総事業費(1～3の合計;千円)	68,058	79,862	80,068			H14主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	68,058	79,862	80,068				0
市民一人当たり一般財源使用額(円)	1,230	1,438	1,432				
事務に従事した正職員のべ人数	0.08人	0.08人	0.08人				

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
内科系利用者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	内科系救急医療の利用者数
	実績値	4,943	5,044	5,295	
	達成率				
外科系利用者数(人)	目標値		未設定	未設定	外科系救急医療の利用者数
	実績値		1,038	1,027	
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

5 事業の成果

事業名：救急医療負担金事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
在宅当番医制実施日数(日)	目標値	366	365	365	365	輪番制で救急医療体制を整えた日数	報告書
	実績値	366	365	365	目標レベル		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	休日や時間外の初期救急医療体制が通年確保され、多数の初期救急患者が受け入れられており、事業の成果が認められる。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	極めて良好	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	市民が安心して生活するための環境整備として休日・夜間の初期救急医療の確保は必要である。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて良好	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	北海道の医療計画において1次から3次までの体系的な救急医療体制の整備が示されており、1次救急医療の確保は市町村の役割と位置づけられていることから、市の関与は妥当である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて良好	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	救急医療の確保は市民の健康保持のために極めて重要であり、市民ニーズも高く、事業内容は妥当である。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	A	[最終評価]	A (前年度)
在宅当番医制は初期救急診療体制を確保するうえで必要不可欠な事業であり、多くの患者が受け入れられており、事業の効果は高い。		課長評価を了承する。		

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	初期救急医療体制を確保するために必要な事業であり、継続実施していく。
最終評価	課長評価を了承する。

9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
休・廃止			
上についでの説明	[課長] 現事業内容を継続実施する。		

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 保健福祉部健康づくり課

事業名： 救急医療負担金事業

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	救急医療負担金事業
支出相手方(名称、代表者、構成員)	社団法人 石狩医師会 会長 上西 仁 (事務局 事務局長:石村嘉教 事務局員:佐藤 真由美)
活動(事業)目的	休日・祝日及び夜間における急病救急診療体制の整備・充実を図り、住民の健康保持に努め市民の健康福祉に寄与することを目的とする。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	休祭日及び時間外急病診療業務負担金	67,400	67,400	79,198	79,198	79,409	79,409	79,409	79,409
	歳出合計	67,400	67,400	79,198	79,198	79,409	79,409	79,409	79,409
歳入決算 (予算)状況	救急医療負担金事業	67,400	100.0%	79,198	100.0%	79,409	100.0%	79,409	100.0%
			市の補助負担金への依存度		市の補助負担金への依存度		市の補助負担金への依存度		市の補助負担金への依存度
	歳入合計	67,400		79,198		79,409		79,409	
補助・負担対象経費の内容	救急医療診療体制にかかわる経費 人件費(医師・看護師・事務員) その他経費(暖房費等)								
補助・負担金額の算定方法	内科系診療:医師1名、看護師2名、事務職1名 外科系診療:医師1名、看護師2名、事務職1名、麻酔医師1名、X線技師1名 上記を基礎に、道の医療職員給与表を用いて算出した額にその他諸経費を加えた額を負担金としている。(人件費については、時間外、深夜、日曜、祝日、ゴールデンウィーク、正月に割増)								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
内科系救急医療患者数	4,943	5,044	5,295	未設定
外科系救急医療患者数		1,038	1,027	未設定
平成14年度 活動(事業)実績				

4 特記事項

--